

# 東京ミッドタウンクリニックの 職場は恐怖と不安がいっぱい

## 「病院の雰囲気が以前と比べて暗くなった」

港区赤坂で働いている皆さん、東京ミッドタウン・タワーで働いている皆さん！

今、ミッドタウン・タワー6階にある東京ミッドタウンクリニックでは、医療機関としてはあるまじき、奇怪なことが続いています。

通院している患者からも「病院の雰囲気が以前と比べて暗くなった」という声が現場スタッフに伝えられています。それもそのはず、職員は恐怖と不安に慄きながら毎日仕事をし、我慢できない職員は次から次に退職して行っています。

では具体的にどのようなことが行われているのでしょうか。幾つかの例をあげましょう。

## 診療中の副院長が逮捕拘留

先日、診療中の大黒副院長が、今から内視鏡をしようと患者に麻酔をかけて効くのを待っているとき、いきなり警察がやってきて副院長を連行し、そのまま逮捕拘留されてしまいました。患者は麻酔までかけられたのに結局内視鏡は中止となりました。

クリニックが積極的に警察を院内に介入させ、患者そっちのけで副院長を警察に引き渡したと見ていたスタッフは証言しています。

クリニックは患者の命より、積極的に意見をいう職員を、どんな手段を使ってでも排除しようとしています。院内ではものが言えない雰囲気がはびこっています。

## クリニックが犯人探しをしなければならない理由は何？

しかし職場を何とか改善しようとする職員は労働組合東京管理職ユニオンに結集し、会社と交渉を続けています。しかし会社はその場しのぎの対応を繰り返すばかりです。

ユニオンはこの状況を突破するため、クリニックに出資している関係会社に状況を報告する手紙を送りました。その中に副院長の逮捕の件も盛り込みました。そうしたらクリニックはユニオン組合員1人ひとりに「どのように情報提供にかかわったか」と弁明書の提出を業務指示として行ってきました。組合活動に対して業務命令を出してきたのです。

副院長の逮捕の件は公知のことです。職員たちは、次は自分に対しても同じことが行われるのではないかと戦々恐々としています。ですから当然話題にもします。しかしクリニックはその情報をもらした犯人探しを今必死にしています。何と退職をした職員にまで「業務指示」を行っています。

そして関係会社に状況を報告する手紙を送ったというユニオンの労働組合としての正当な活動に対して「刑事告訴あるいは訴訟の提訴等を含めた断固たる法的措置」をほのめかず脅迫を行ってきました。少し前に副委員長が逮捕されたということを踏まえると一笑にふすことはできません。

クリニックが今もこの問題を隠そうとし、秘密裏に対処していることの方が、なにか問題の裏側には別の問題が隠されているのではないかと連想させます。

## 声を上げたら「辞めさせてやる」

クリニックの不可解な出来事の発端は、今年5月中旬、1人の医師が自宅待機処分を受けたところから始まります。

その医師の処分に対し、職員から処分撤回の嘆願書への署名活動が開始され、半数以上の職員が署名をしました。そうするとクリニックは呼びかけ人の犯人探しを始めました。

「犯人」と勝手に思い込んだ看護師に対して古川顧問（前 **COO**）は「あいつを辞めさせてやる」等の発言を何人もが聞いている前で公然と行いました。近くにいた職員は、自分もクリニックから睨まれたら同じようにされるのかと捉えておびえ退職していきました。

「辞めさせる」と言われた看護師は、他の職員からは隔離された勤務部署にされました。そしてこの12月1日からは専門外の部署に配置換えになりました。

## 安心して医療に専念できる労働環境を

このようなことに対してユニオンは、一緒に働いている仲間の問題提起をするピラを作成し、自分のお昼の休憩時間に同僚に手渡しました。そうしたらクリニックはその行為が就業規則違反だと難癖をつけてきました。

労働者の休息時間の行為は、使用者からいちいち咎められなければならないのでしょうか。労働組合活動は使用者の許可を取って行わなければならないのでしょうか。このようにことを許すならば、職場で労働組合の「ろ」とも発言できなくなります。

クリニックのこのような行為は、本当は後ろめたさを抱えているからです。

最近、連続する退職者に対して「秘密保持誓約書」の提出を強制しています。「業務秘密」を漏らして「損害賠償を請求されても異義の申し立てをせず、その請求に応じます」と記載されています。上記の副院長の逮捕の例ではどうでしょうか。クリニックは「業務秘密」と捉えているので、退職後どこかで話題にすると損害賠償を請求される危険性があります。

クリニックの現状に恐怖と不安を抱き、退職していった医師、看護師、職員はたくさんいます。その彼らに対してまで緘口令を敷かなければ経営が維持できないクリニックにはさらにたくさんの疑問が湧いてきます。

東京ミッドタウンクリニックは患者が安心して診療を受られるように変わって欲しいものです。そのためには職員が安心して医療に専念できる労働環境を整える必要があります。

## 東京管理職ユニオン

東京都新宿区西新宿4-16-13 MKビル2階

**TEL:** 03-5371-5170 **FAX:** 03-5371-5172

メール：[sodan@mu-tokyo.ne.jp](mailto:sodan@mu-tokyo.ne.jp)

**HP:** <http://www.mu-tokyo.ne.jp>